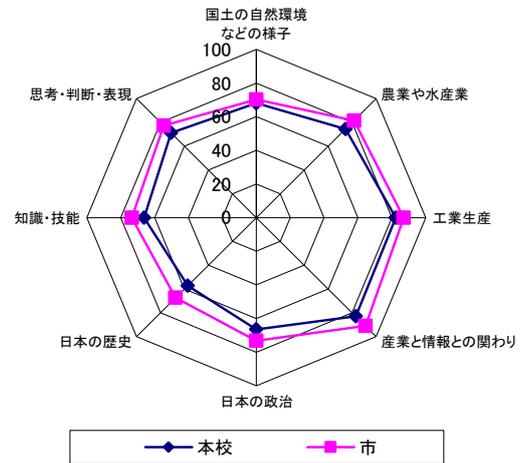


宇都宮市立錦小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

| | | 本年度 | | |
|-----|--------------|------|------|------|
| | | 本校 | 市 | 参考値 |
| 領域別 | 国土の自然環境などの様子 | 68.1 | 70.3 | 66.4 |
| | 農業や水産業 | 74.5 | 81.6 | 75.3 |
| | 工業生産 | 82.3 | 87.0 | 77.7 |
| | 産業と情報との関わり | 83.0 | 91.0 | 81.3 |
| | 日本の政治 | 66.5 | 73.2 | 75.3 |
| 観点別 | 日本の歴史 | 57.2 | 67.4 | 68.5 |
| | 知識・技能 | 66.2 | 73.5 | 72.5 |
| | 思考・判断・表現 | 71.2 | 77.3 | 71.5 |
| | | | | |
| | | | | |

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 領域 | 本年度の状況 | 今後の指導の重点 |
|--------------|---|--|
| 国土の自然環境などの様子 | <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は68.1%で市より2.2ポイント低かった。 ○季節風について問う問題では、正答率が59.6%で市より1.1ポイント高かった。 ●赤道について問う問題では、正答率が57.4%で市より10.4ポイント低かった。 ●日本の周辺の海洋名について問う問題では、正答率が83%で市より1.7ポイント低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 世界の国土や日本周辺の海洋名についての内容の正答率が低かったため、改めて地図帳を活用してプリント学習に取り組むなど、既習事項を復習する機会を設けるようにする。 |
| 農業や水産業 | <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は74.5%で市より7.1ポイント低かった。 ●水揚げされた魚の出荷作業における工夫について資料をもとに判断する問題では、正答率が85.1%で市より9.8ポイント低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 米作りや野菜作り、漁業についての復習も行い、食料生産全体の問題について関心を高め、農業や水産業全体の知識を深められるようにする。 |
| 工業生産 | <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は82.3%で市より4.7ポイント低かった。 ●安全性の高い自動車づくりについて、資料をもとに考える問題では、正答率が89.4%で市より5.6ポイント低かった。 ●日本の貿易の変化について資料をもとに表現する問題では、正答率が70.2%で市より7.2ポイント低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 自動車が作られる過程について理解している。今後は、日本の工業生産について外国との関わりにも着目しながら復習を行う。また、資料の読み取り方についても確認し、知識を深められるようにする。 |
| 産業と情報との関わり | <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は83.0%で市より8ポイント低かった。 ●情報の発信と受信の注意点について考える問題では、正答率が78.7%で市より10.3ポイント低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活と情報との関わりについて、関心をもちながら学習に取り組めるよう、インターネットや資料集などの資料を活用した授業を積極的に行う。また、国語の情報活用の学習とも関連させながら授業を行う。 |
| 日本の政治 | <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は66.5%で市より6.7ポイント低かった。 ○租税の役割についての理解を問う問題では、正答率が70.2%で市より3.2ポイント高かった。 ●法律ができるまでの流れについて資料を読み取る問題では、正答率が61.7%で市より14.2ポイント低かった。 | <ul style="list-style-type: none"> 国民の生活は日本国憲法に基づいており、それにより安定した社会を実現できることを確認する。特に、内閣の働き、国会と内閣の関係についての復習を行い、憲法についての理解を深めることができるようにする。 |
| 日本の歴史 | <ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は57.2%で市より10.2ポイント低かった。 ○弥生時代についての理解を問う問題では、正答率が48.9%で市より2.1ポイント高かった。 ●かな文字についての理解を問う問題では、正答率が53.2%で市より19.8ポイント低かった。□ | <ul style="list-style-type: none"> 歴史についての理解は、定着している内容としていない内容の差が大きかった。そのため、その時代に関連する資料や視聴覚教材を効果的に用いながら、出来事と時代背景、人々の生活などを関連付けながら復習を行う。□ |